

※当ファンドは、2026年4月27日に満期償還となります。これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

受益者向け資料

Monthly Report

作成基準日：2026年3月31日

T&D  
保険グループ

# 豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)

追加型投信／海外／資産複合

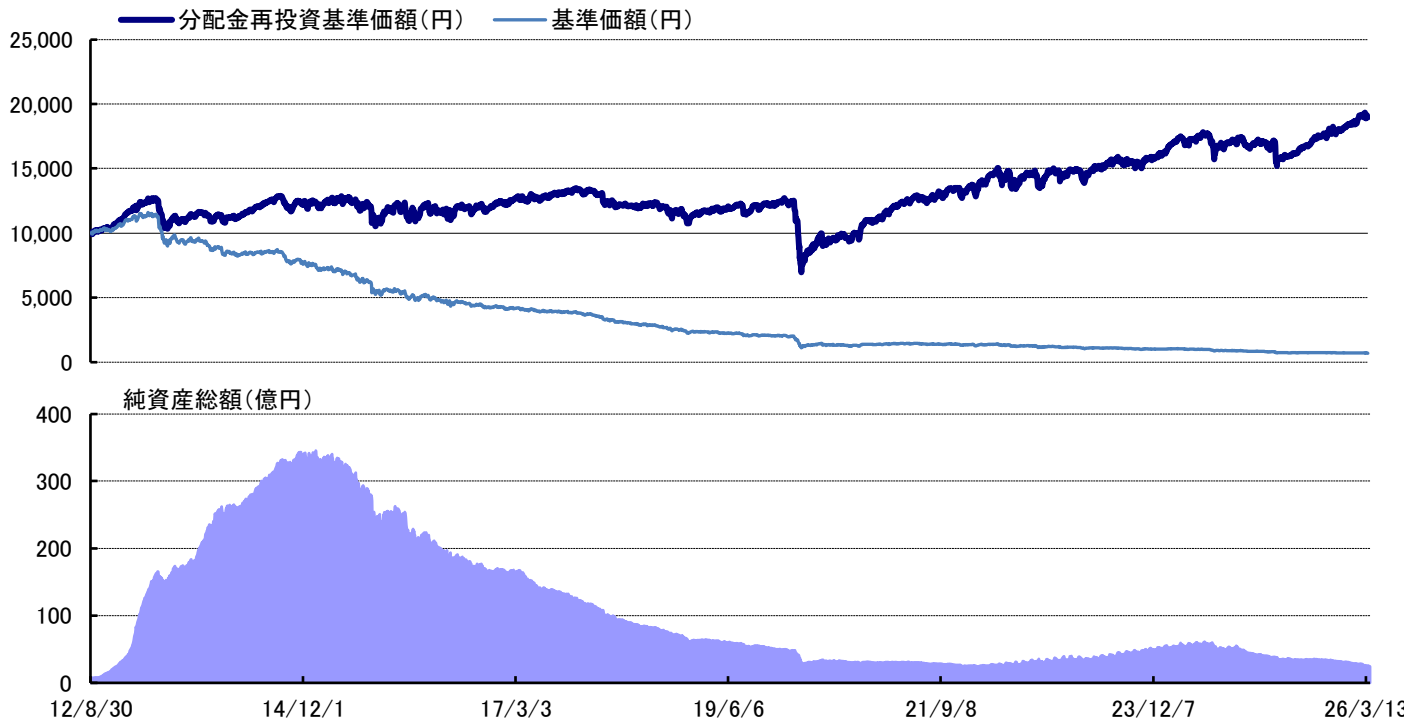
※本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入していますので、合計の数値とは必ずしも一致しません。

※運用実績および分配実績は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

## 基準価額と純資産総額の推移(設定来:日次)

※分配金再投資基準価額は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

なお、基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後です。



### 商品概要

設定日	2012年8月31日
信託期間	2026年4月27日まで
決算日	毎月25日 (休業日の場合は翌営業日)
信託報酬率	年 1.463% (税抜 1.33%)
基準価額	691円
純資産総額	2,427百万円

※投資対象とする外国投資信託証券にも別途信託報酬等がかかります。

### 期間別騰落率

過去1ヵ月	-0.4%
過去3ヵ月	4.3%
過去6ヵ月	8.2%
過去1年	10.5%
過去3年	31.6%
設定来	89.6%

※収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### 分配実績(1万口当たり、税引前)

第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
25年4月	25年5月	25年6月	25年7月	25年8月	25年9月
15円	15円	15円	15円	15円	15円
第157期	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期
25年10月	25年11月	25年12月	26年1月	26年2月	26年3月
15円	15円	15円	15円	15円	15円

設定来分配金合計 11,600円

### 資産構成

ファンド名	比率
UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ - 豪州高配当株・ツインαファンド	87.2%
T&Dマネープールマザーファンド	0.5%
現預金等	12.2%
合計	100.0%

### 基準価額騰落率の要因分析

対象期間：2026年3月2日～2026年3月31日

豪州株式要因			為替要因		その他 要因	合計
価格 変動	オプション 効果	配当 要因	価格 変動	オプション 効果		
-4.00%	2.95%	0.79%	-1.12%	1.03%	-0.08%	-0.42%

※株式には、投資信託証券を含みます。  
※オプション効果は、プレミアム収入とオプションの評価損益の合計です。  
※その他要因には、信託報酬等を含みます。  
※合計は、当月の基準価額騰落率(分配金再投資)です。

※本資料をご覧くださいにあたっては、4ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は



T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-6722-4810 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

投資対象ファンドの運用概況  
「UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ - 豪州高配当株・ツインαファンド」  
2026年3月末現在(現地基準)

投資対象ファンドの運用概況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン(シンガポール支店)、ユービーエス・エイ・ジー ロンドン支店および副投資顧問会社であるフランクリン・テンプレトン・オーストラリア・リミテッドより入手したデータをもとに作成しております。

◆ ファンドの概要

株式組入比率	93.4%
配当利回り	4.95%

※比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率です。

※株式には、投資信託証券を含みます。

※株式組入比率は、未払金等が多いと100%を超える場合があります。

※配当利回りは、基準日時点の予想配当をもとに算出した個別銘柄の予想配当利回りを、株式評価総額で加重平均したものです。

◆ 現物株式

業種別組入比率	
業種	比率
保険	11.9%
運輸	10.9%
素材	10.5%
銀行	8.7%
エクイティ不動産投資信託(REIT)	8.1%
公益事業	7.5%
生活必需品流通・小売り	6.5%
エネルギー	5.1%
商業・専門サービス	3.6%
資本財	3.6%
その他の業種	17.0%
合計	93.4%

◆ オプション取引

	株式オプションα戦略	通貨オプションα戦略
行使水準	103.12%	101.42%
プレミアム(年率)	7.5%	7.5%

※行使水準は、基準日以前で直近に行った取引の行使水準です。

※行使期間は、原則として概ね1ヵ月です(変更する場合があります)。

※プレミアム(年率)は、純資産に対する年率調整後のオプションのプレミアム収入です。

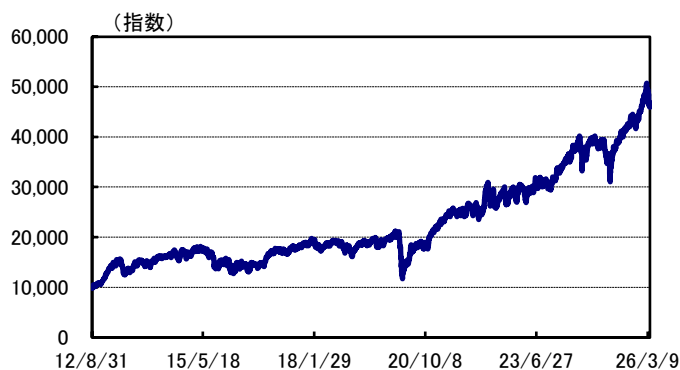
組入上位10銘柄			
	銘柄名	業種	比率
1	BHP GROUP LTD	素材	5.0%
2	AURIZON HOLDINGS LTD	運輸	4.9%
3	APA GROUP	公益事業	4.6%
4	MEDIBANK PRIVATE LTD	保険	4.4%
5	ANZ GROUP HOLDINGS LTD	銀行	4.3%
6	SUNCORP GROUP LTD	保険	3.8%
7	TRANSURBAN GROUP	運輸	3.8%
8	QBE INSURANCE GROUP LTD	保険	3.7%
9	WOOLWORTHS GROUP LTD	生活必需品流通・小売り	3.3%
10	SCENTRE GROUP	エクイティ不動産投資信託(REIT)	3.3%

組入銘柄数 46銘柄

※比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率です。  
※業種はGICS(世界産業分類基準)によるものです。

ご参考情報

◆ S&P/ASX 200 Index(配当込み)(円換算)の推移



※S&P/ASX 200 Index(配当込み)(円換算)は、豪ドル建てのS&P/ASX 200 Index(配当込み)【出所:Bloomberg】を、当社が円換算したものです。当ファンドが投資対象ファンドを組入れた日の前日を10,000として指数化。

◆ 為替レート(豪ドル/円)の推移



※為替レートは、ロンドン時間午後3時30分のレート【出所:Bloomberg】です。

※本資料をご覧くださいにあたっては、4ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

 T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-6722-4810 (受付時間は営業日の午前9時~午後5時)  
インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

ファンドマネージャーのコメント

市況概況

3月のオーストラリア株式市場は下落しました。上旬は、イラン情勢の悪化を背景とした原油価格の高騰によりインフレ加速への懸念が高まり、RBA(オーストラリア準備銀行)の追加利上げ観測が強まったことから、株式市場は下落しました。中旬は、原油先物価格の高騰が続くなか、RBAの追加利上げ期待が一段と高まったため、株式市場は軟調に推移しました。RBA理事会で市場の予想通り政策金利を2会合連続で上げましたが投票結果が僅差だったことで、早期追加利上げ観測が後退しました。下旬は、中東情勢を巡る停戦期待と、長期化懸念が入り混じり一進一退の展開となりました。

豪ドルは対円で下落しました。前半はRBAの副総裁が17日の金融政策決定会合における利上げの可能性について言及し、利上げ観測が高まったことから円安豪ドル高となりました。後半は0.25%の利上げが決定され円安豪ドル高となる局面がみられましたが、停戦交渉の難航や軍事衝突に関する報道を背景に有事の米ドル買いが進行するなか安全資産とされる円が買われたことで、円高豪ドル安となりました。

運用概況

当月の当ファンドの基準価額は0.4%下落(分配金再投資後)しました。月を通じて、「UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ - 豪州高配当株・ツインαファンド」(以下、外国投資信託証券)を高位に組入れました。

外国投資信託証券は、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目的として、相対的に予想配当利回りが高い銘柄に選別投資し、ポートフォリオの構築を行いました。また、スワップ取引を通じて、実質的にオーストラリア株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引(コールオプションの売却)の双方のポジションを取りました。

当月の外国投資信託証券の基準価額は、主にオーストラリア株式の価格変動要因がマイナスに寄与し、下落しました。3月中のポートフォリオについては、変更ありませんでした。3月末現在の株式の組入銘柄数は46銘柄、組入上位業種は、保険、運輸、素材などとなりました。

今後の運用方針

4月27日の満期償還に向けて、4月中旬に、外国投資信託証券である「UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ - 豪州高配当株・ツインαファンド」および国内の証券投資信託である「T&Dマネープールマザーファンド」受益証券を売却し、コール・ローン等の安定運用に移行します。

※市況概況および「UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ - 豪州高配当株・ツインαファンド」については、フランクリン・templton・オーストラリア・リミテッドより入手したコメントをもとに作成しております。

※本資料をご覧くださいにあたっては、4ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は



T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-6722-4810 (受付時間は営業日の午前9時~午後5時)  
インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

ご留意いただきたい事項

- 本資料はT&Dアセットマネジメントが当ファンドの受益者に運用状況をご報告するために作成した運用レポートであり、当ファンドを含む有価証券の売買の勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また、本資料に掲載されているグラフ、パフォーマンス等の内容は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。本資料に記載されている意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 大量の解約・換金申込を受け付け短期間で解約資金を準備する必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が変動する要因となります。また、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ファンドは2026年4月27日に満期償還を迎える予定です。そのため、償還に向けた投資対象資産の全部売却により、原則として2026年4月20日以降、基準価額が変動しなくなります。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 本資料の様式、表示項目等は将来、予告なく変更される場合があります。

世界産業分類基準(GICS®)は、S&PとMSCIによって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。MSCI、S&P、およびGICS分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類(またはそれを利用することで得られる結果)に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者はすべて、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性のすべての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、MSCI、S&P、その関連会社またはGICS分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害(逸失利益を含む)について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

